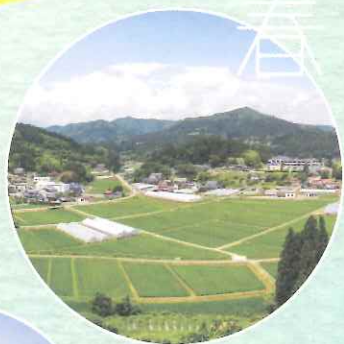


# 里山の未来を考える！ 2週連続トークイベント開催！

会場：南三陸町役場マチドマ特設会場



1 2/28 水 19:00-21:00

## 「里山の活用と 未来予想図」

里山の農地を活用するためには！？アーティストインレジデンスとしてアートで休耕田を活用したYORIKOさんの取り組みの報告と、中山間地での農業や地域活性化に造詣の深い民俗学者・結城登美雄さんと里山の活用と未来を考える時間とします。

GUEST SPEAKER 登壇者

結城 登美雄 (民俗学者) TOMIO YUKI

山形大学卒業。東北大学大学院非常勤講師。民俗研究者として東北の村々を歩き続け、農と地域のあり方について考察を深めている。「地元学」提唱者の一人で1998年「NHK東北ふるさと賞」2004年「芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）」2011年「河北文化賞」を受賞。著書に「東北を歩く—小さな村の希望を旅する」など。



YORIKO (美術作家)

専門学校桑沢デザイン研究所、ロンドン芸術大学卒業。グラフィックと空間デザインの仕事をしながら、国内外の地域に滞在し住民の方々と協働でものづくりをするアートプロジェクトに取り組む。



入場  
無料

平均年齢60歳を超え、20代、30代の農業人口は数えられるほど。それが南三陸町の里山、入谷地区の農業人口の現状です。今現在、豊かな景観をもつ里山も5年10年で景色は一変してしまうかもしれません。里山の荒廃は景観だけでなく、生物や海の環境にも影響を与えかねません。南三陸の里山はどうなっていくのか？農業やアート、デザインなどさまざまな角度から里山の未来を考える2週連続のトークイベントを開催します。

2 3/7 水 19:00-21:00

## 「里山の未来を デザインする」

コミュニティデザイン＝「人のつながり」をデザインすること。日本全国各地で、まちとそこに住む人たちを元気にするコミュニティデザイナーの山崎亮さん（studio-L代表）をお招きして、里山の未来を考える時間とします。

GUEST SPEAKER 登壇者

山崎 亮 RYO YAMAZAKI

studio-L代表。東北芸術工科大学教授（コミュニティデザイン学科長）。慶応義塾大学特別招聘教授。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。著書に『ふるさとを元気にする仕事（ちくまプリマー新書）』、『コミュニティデザインの源流（太田出版）』、などがある。



主催：南三陸町農林水産課  
協力：一般社団法人南三陸研修センター  
このイベントは「平成29年度中山間地農業ルネッサンス推進事業」の助成を受けて実施しております。

裏面申込書に記入の上、FAXもしくはメールにてお申し込みください。

## ▲ お申し込み方法

下記にご記入の上、FAX又はメールでお申し込みください。当日参加も受付けます。

お申し込み・問い合わせ先：一般社団法人南三陸研修センター 浅野

【TEL】0226-25-9501 【FAX】0226-25-9502 【メール】info@ms-lc.org

## ▲ 参加申込書

氏名	年齢	住所	参加講座
			<input type="checkbox"/> 2/28 <input type="checkbox"/> 3/7
			<input type="checkbox"/> 2/28 <input type="checkbox"/> 3/7
			<input type="checkbox"/> 2/28 <input type="checkbox"/> 3/7
			<input type="checkbox"/> 2/28 <input type="checkbox"/> 3/7

## 南三陸町入谷地区の事例 ART PROJECT IN IRIYA

遊休農地をアートで遊び場に変身！

### 花見山ランド

遊休農地だった土地を、一般社団法人南三陸研修センターのアーティストインレジデンス事業の一環としてアーティストと地元住民、ボランティアの手で生き物と子どもたちが集まる空間に整備しました。

ビオトープとして30種以上の生き物が確認されただけでなく、近隣の幼稚園や小学生の散歩コースになるなど地域でも認知が広がっています。



- (1)(2)(3) 完成した花見山ランドで遊ぶ住民のみなさん
- (4) たくさんの方々が整備作業に参加してくれました
- (5) 入谷ようじえんの生徒さん達と一緒に看板を制作
- (6) 初期スケッチ

